

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*電動機械式計算機「hamann automat Modell T」収蔵

アーカイブ新聞 764号に「電動機械式計算機「フリーデン」収蔵」という記事を書き、天文機器資料館に展示した。写真1の右端が「フリーデン」である。フリーデンの左の計算機は、随分前に展示した電動機械式計算機なのだが、この計算機について記事にしていなかったことに気がついた。その計算機の名前は「hamann automat modell t」である。



写真1 左から「太陽」、「hamann automat modell t」、「フリーデン」

この展示コーナーは、国立天文台に残っていた計算機を並べて展示しているコーナーで、他にも「タイガー計算機」、比較的古い「電卓」などを展示している。

この写真1の中央の計算機が電動機械式計算機「hamann automat Modell T」(写真2)である。この計算機を展示した際、この計算機について全く考察をしなかったのは迂闊であった。インターネットで「hamann automat model t」で検索すると画像が山ほど出てくる計算機ではないか。展示してある「hamann automat Modell T」には、De Te We hamann automat Modell Tと刻印(写真3)されている。また備品番号として「東京天文台 No. 53」と記されている(写真4)。アーカイブ新聞764号のフリーデンは東京天文台の備品番号「Q-12」とあったから、この「hamann automat Modell T」の方が古いと考えられる。計算機の備品番号に記号である「Q」が記されていることは筆者でさえ知っていることである。東京天文台では、備品の種類によって什器には「い. ろ、は・・・」を使い、機器には「A、B、C・・・」を使っていた。望遠鏡は「M」、計算機は「Q」であった。備品に記号を付ける前の備品ということになるのだが、この計算機はそんなに古いものであろうか？この計算機には製造国、製造年が記されていない。購入年も記載がない。

この計算機は、旧図書館の雑多な機器などが保管されている元の移動式書架の中で見つけて、天文機器資料館の天文台の計算機の変遷を展示する中に展示していた。これはアー

カイズ新聞 764 号で書いた「フリーデン」よりも貴重なものではないかと思えてきた。この計算機にも電源ケーブルはない。筆者は使ったこともないし、この計算機を使っていた人もまったく知らない。この計算機もタイガーの様な手回し計算機を電動化したもののような。フリーデンより小ぶりである。



写真2 「hamann automat Modell T」



写真3 刻印の銘盤



写真4 東京天文台の備品番号

この計算機が使われた研究室、研究者について現在のところなにも情報がない。どうやら歴史的に貴重な計算機と思われるので調査をしていきたい。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp